

災害事例 (休業4)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2022年11月21日(月)	15時50分	構内
職種:年齢:経験	作業員	57才	20年
発災時の作業内容	配管の仕切板入替作業のためフランジボルトを緩めたところ、残圧がありガスが噴出した。残圧を抜くために近傍のドレン切りバルブを開けた時に硫化水素を含むガスが周囲に放出され、付近にいた被災者がこのガスを吸引し倒れた。		
傷病名:部位:程度	硫化水素中毒	-	休業1日
事故の型:起因物	有害物等との接触		配管
原因	不安全な状態	・配管内に残圧があった。	
	不安全な行動	・初期開放時であるにも関わらず、エアラインマスク等を着用していなかった。 ・配管内に残圧があったにも関わらず、作業を続けた。	
	安全管理上の欠陥	・工事着工前に圧抜き完了の確認ができていなかった。 ・残圧があるときに作業を中断して関係者と調整することの教育指導ができていなかった。 ・初期開放時はエアラインマスク等の保護具着用が必須であるが、安全指示ができていなかった。 ・硫化水素の存在を予知できなかった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残圧があるときは作業を中断して関係者と調整することを徹底する。</li> <li>・初期開放時はエアラインマスク等の保護具着用を再徹底する。</li> <li>・工事計画段階では専門家を交えてリスク要因の洗い出しを行う。(客先)</li> <li>・工事着工前に圧抜き完了の確認を現地現物で行う。(客先)</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り

